

足工大 後援会 報

第 59 号

発行

足利市大前町268-1

足利工業大学後援会

ご挨拶



後援会 会長

中 里 裕

足利工業大学後援会会員の皆様、平素は後援会活動にご理解ご協力をいただきまして有難うございます。この度後援会会長を仰せつかりました中里です。歴代会長の名を汚さぬよう微力を尽くしますのでどうぞよろしくお願いいたします。

昨年度は理事会が六回開催されました。毎回多岐に亘るテーマを大学側と話し合いしております。学生たちのより良い教育環境づくりの為、理事の皆様とともに会員各位、大学と密接に連携していきたいと考えております。

また本年も例年通り、学生自治会・クラブ活動援助、資格取得や朝食補助、卒業記念アルバム作成・学生災害傷害保険などの事業を続けてまいります。

後援会の理事となり本学を訪問した際に、学生の皆さんから自然でさわやかな挨拶を頂きました、非常に

感銘しました。普段からこのような習慣が無いとできない学校だと改めて思いました。後からお聞きしましたら職員先生方から率先して挨拶をされているそうです。本学学生は四年間に大きな成長を遂げますが、個々の学生に合わせたきめの細かいご指導、モチベーション向上の為丁寧なアドバイスを頂いた結果であります。感謝に堪えません。

これからもさらに熱心なご指導をいただけるようお願いいたします。秋には学校祭があります。後援会ブースも設営いたします、学生たちの普段とは違う様子が見られます、ぜひ見学にいらしてください。看護学部も三年目です。

女子学生もかなり増えてキャンパスが華やいだ雰囲気になりました。来年は大学開学五十周年です。大きな区切りの年ですので、後援会としても全力でバックアップしていきます。まずはスクールバスの寄贈です。昨年度から予算を確保し準備が進んでおります、社会で活躍している多くの卒業生があらためて注目することになります。ぜひ記念式典を成功させましょう。



本学の素晴らしい基本理念「和を以て貴しと為す」の基、学生の皆さんが有意義な学校生活を送られますよう後援会は全力で取り組んでまいります。

長期にわたり、後援会に御尽力を頂きました。心より感謝いたします。誠にありがとうございました。

《後援会退会役員》

- 会 長 川崎 浩司 様
- 副会長 大澤 秀也 様
- 副会長 柿沼 淑江 様
- 理事 片柳 明 様
- 理事 大関 一雄 様
- 理事 久力 正通 様

地域社会に必要とされる「地域立大学」を目指す



学長 庄司 和男

後援会の皆様には、日頃より教育支援、就職支援に対する援助をはじめ、様々なご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

本年度より第六代学長を拝命いたしました庄司で御座います。本学工学部は、これまで二万人を超える卒業生を輩出し、その卒業生たちは教育界・産業界・地方自治体などで高く評価されています。しかし、少子化、大学・学部数の増加に伴う「大学全入時代」に加え、東京一極集中の状況にある現在、地方に位置する大学はそれぞれ入学定員の確保に苦慮しているのが実情であり、本学も例外ではありません。

一昨年度に創設した看護学部については、将来は病院勤務の看護師の需要は減るものの訪問看護の需要が増えることが予想され、今後とも看護師の需要は増えたと考えられており、入学

「地域立大学」になるためには、専門知識を習得する前にしっかりとした教養・基礎教育を行い、社会で活躍できる卒業生を送り出すこと、そして地域社会との繋がりを密にすることが重要と考えています。そのため昨年度、本学は二つのことを実行しました。一つは、充実した教養・基礎教育を行うための核となる共通教育センターを立ち上げました。もう一つは、地域社会との繋がりを密にするために、足利市、足利赤十字病院そして足利商工会議所と包括連携協定を結びました。包括連携については、既に実績を上げつつあることを付記しておきます。

新たなスタート



副学長兼工学部長 末武 義 崇

後援会の皆様には、日頃より本学の教育・研究に関するご理解とご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

工学部・創生工学科は、今年度から四分野七コースの新たな体制でスタートを切るようになりました。新たに再編したグループは、機械分野、電気電子分野、システム情報分野、建築・土木分野の、四つの分野になります。入学者である高校生の側から見ても、本学

さらに伸ばすと同時に、必ずしも得意としないない学生にとっても一定レベルの学力に到達できるように科目設定・クラス編成を再構築してまいります。

分野再編に当たっては、当然カリキュラムの大幅な見直しを図りましたが、特に共通教育を重視した教育体制の見直しを図っております。数学や物理、化学といった自然科学分野はもちろん、英語を中心とする語学分野についても、それぞれの科目を得意とする学生の力を

就職指導につきましては、ここ数年の景気回復の影響を受け、本学を取り巻く就職環境は、極めて良好と言った過言ではありません。就職率の高さもさることながら、本学に対する求人状況は、質・量ともに良好です。一方で、学生側がこうした千載一遇のチャンスを活か

しきれない側面があり、指導する我々教員側としては、歯がゆさを感じる場面も少なくありません。もう少し積極的に企業研究・就職活動に励むよう、学生を指導していかねばならないと考えております。

最後に申し上げますが、庄司前副学長・現学長に代わって、本年四月から足利工業大学

看護学部と工学部のコラボレーション



看護学部学部長 山門 実

お蔭様をもちまして、私どもの看護学部は設立三年目にはいることができました。

本年度の重要課題であった入学者の確保については、定員八十名に対して八十九名の学生を入学させることができました。この結果について、入試企画委員会ならびに看護学部の全教職員に深く感謝いたします。

すか」という足利市民をはじめとする両毛地区市民の疑問を耳にすることからです。すなわち、工業大学の看護学部の位置付けに理解ができていないということになります。この課題を解決する手段としては、まず、足利工業大学看護学部、こと足利工業大学看護学部の名称を変更することがあります。しかしながらこの手段については、ごく最近の天皇陛下の生前退位と同様に、後援会のみならず、同窓会、和合会をはじめとする大学関

関係者のご理解が大前提となります。一方、逆に、工学部のある大学の看護学部としての利点を強くアピールすること、この課題の解決策のひとつと考えています。すなわち、工学部と看護学部の共存、看工連携・工学部と看護学部のコラボレーションを強くアピールすることです。この看工連携については、文部科学省での看護学部設置認定に関するヒアリングの際に説明した内容でもあります。従って、この看工連携は看護学部の教育方針のひとつでもあります。ことに、平成二十七年より、看護部に対しての特定医療行為の研修が開始されました。これは、看護師が自己の判断のもと、呼吸器や血液透析等の医療機器の操作あるいは管理を行うことができ、今後、看護部には医療機器の知識を保有することが不可欠となつてきます。このような今後の医療情勢を見極めたうえで、本看護学部を他の看護学科・看護学部との差別化を図るためにも、本看護学部の学生には、在学中に医療機器に関する知識を習得させることが必要となります。現在、本看護学部では「専門基礎科目群、健康と疾病の理解」として一年次には「看護人

カリキュラムの改善と確実な遂行



工学部教務委員長 長尾 昌 朋

今年度から工学部教務委員長を拝命いたしました。後援会の皆様よろしくお願ひいたします。

工学部は、平成二十三年

越えた学習を可能とするものでした。しかし、複雑なカリキュラムと教員のマンパワーが必要でした。この問題を解消するため、平成二十七年にA I Tミニマムを実施しました。カリキュラムを簡素化するとともに、教員のマンパワーを基礎教育の充実に向けて、それが可能となりました。さらに、高校生や企業の方々に向けて、学生が学習する内容を的確に表現するため、今年度から四分野七コースに再編し、新入生を迎えたところです。

実は私自身の所属も、都市環境工学科から自然エネルギー・環境学系へ、さらに建築・土木分野へと変わりました。現在は、自然学系の学生の卒業研究を指導していますが、自然学系や土木工学コースの専門科目、全分野の学生を対象とした情報系基礎科目を担当しています。あと三年はこのような複雑な状況が続くと思います。



工学部学生指導委員長
増山 正明

学生指導・支援の取り組み

後援会の皆様には、日頃からいろいろなご支援を頂きありがとうございます。大学は今年度も始業以来、様々な行事を経て、現在、大学本来の機能を十分に果たしています。

本学工学部学生指導委員会は、学生の指導に関する事項を全般的に扱い、教育

環境の充実を図ることを目的とし、これまで学生の生活・学習指導、カウンセリング、健康管理などに取り組んでまいりました。クラブ活動、大学祭や球技大会などの活性化支援、また特待生の選考や留学生経済支援、教育相談会の実施など学生の就学支援・指導を行って

て頂いた企業に毎年約五割の学生が就職しております。以上は工学部の学生に対するものですが、三年前に発足した看護学部からも、看護指導委員が選抜され、来年度の就職活動に向けて着々と準備を進めております。看護学部は工学部とは異なり就職分野は絞られており、指導要領は多少異なりますが、これまで培ってきたノウハウを生かして就職支援を行っていきつております。後援会の皆様にはご理解とご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

五月の連休明けより、五月六人がグループになり、約六ヶ月かけて成人看護学Ⅰ、成人看護学Ⅱ、小児看護学、母性看護学、老年看護学、精神看護学、在宅看護学の七領域をローテーションし実習します。実習施設は県内の病院、地域の訪問看護ステーション、通所施設など、十八箇所です。実習施設では学生指導担当の看護師と大学で各領域を担当する教員が学生の指導に当たります。

病院の実習で学生は、一名の患者さんを担当し、看護の実践を学びます。受け持ち患者さんを全人的に掌握するために、学生は、疾患、症状、治療について、また、ライフスタイルに関する様々な情報からアセスメントし、健康上の問題、生活上の問題を明確にし、看護計画を立てます。自分が立案した計画に基づいて看護を実践し、実践した看護を評価すると、看護過程を学び

本学の就職支援



就職指導委員長
齋藤 榮

六年間の長期にわたり就職指導にご尽力された和田昇三教授を引き継ぎ、本年度から就職指導委員長を拝命しました齋藤です。大役を全うできるかどうか不安ではありますが、最大限、努力しますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今春卒業した本学学生の内定率は、「九四・一％」(昨年九二・六％)で、昨年より一・五％上昇しております。就職は世の中の景気の動向に影響されることではありますが、本学での就職率の良さは、以下のようない「支援活動」によるところが大きいものと確信しております。

本学では就業意欲の醸成を目的として、学生に対して低学年からキャリア教育を行っております。一、二年生に対しては、前期と後期にそれぞれ一回ずつ、合計四回のキャリア講座を開

設しております。同時に、就職活動で重要になる文章能力を向上させる教養科目として「文章表現ⅠⅡⅢ(各一単位)」を準備しております。更に、週一コマの授業「自己表現ⅠⅡ(各一単位)」内容を、自分を理解し、自分に合う職種の選択に関する知識獲得、また、実践的な面接試験でのコミュニケーション能力などを向上させるものであります。

実際に就職活動する四年生では、卒業研究の指導教員が就職課と協力して学生一人ひとりに細やかなアドバイス(履歴書の書き方等)を行っております。なお、「卒研」は重要科目で、採用する側では、卒研の取り組み方を重視します。就職指導委員会主導で行

ついでに、学内企業セミナーです。この催しは、三月上旬に大前キャンパスの体育館を会場として約三〇〇社の人事担当者を招待して三年生(四月には四年生)と面談するものです。来学して

て頂いた企業に毎年約五割の学生が就職しております。以上は工学部の学生に対するものですが、三年前に発足した看護学部からも、看護指導委員が選抜され、来年度の就職活動に向けて着々と準備を進めております。看護学部は工学部とは異なり就職分野は絞られており、指導要領は多少異なりますが、これまで培ってきたノウハウを生かして就職支援を行っていきつております。後援会の皆様にはご理解とご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

看護学部学生指導委員長
佐藤 正子

看護学実習の目標

- (一)看護の対象である患者や家族に対して関心をもち、人間関係を築くことができる。
- (二)対象の体験している健康問題を総合的に捉えることができる。
- (三)科学的思考に基づいて看護計画を立てること

三年生の臨地実習がスタートしました



看護学部学生指導委員長
佐藤 正子

学生は臨地実習で、これまで学んだ知識と技術を統合し、対人援助技術である看護実践を体験します。三年生の四月、新学期のガイダンスを終えると実習に向けての準備が始まります。実習ガイダンスでは実習の目的・目標や実習内容、方法などを確認します。

看護学実習の目標

- (一)看護の対象である患者や家族に対して関心をもち、人間関係を築くことができる。
- (二)対象の体験している健康問題を総合的に捉えることができる。
- (三)科学的思考に基づいて看護計画を立てること

五月の連休明けより、五月六人がグループになり、約六ヶ月かけて成人看護学Ⅰ、成人看護学Ⅱ、小児看護学、母性看護学、老年看護学、精神看護学、在宅看護学の七領域をローテーションし実習します。実習施設は県内の病院、地域の訪問看護ステーション、通所施設など、十八箇所です。実習施設では学生指導担当の看護師と大学で各領域を担当する教員が学生の指導に当たります。

病院の実習で学生は、一名の患者さんを担当し、看護の実践を学びます。受け持ち患者さんを全人的に掌握するために、学生は、疾患、症状、治療について、また、ライフスタイルに関する様々な情報からアセスメントし、健康上の問題、生活上の問題を明確にし、看護計画を立てます。自分が立案した計画に基づいて看護を実践し、実践した看護を評価すると、看護過程を学び

平成27年度 足利工業大学後援会収支決算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

収入の部

(単位 円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B)-(A)	摘要
前年度繰越金	5,531,261	5,531,261	0	
会費	26,050,000	26,150,000	100,000	@25,000円
雑収入	60,000	77,450	17,450	学生災害傷害保険移動返還金
計	31,641,261	31,758,711	117,450	

支出の部

(単位 円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B)-(A)	摘要
1 運営費	2,600,000	2,135,950	△ 464,050	
会議費	1,300,000	1,331,185	△ 31,185	後援会総会・理事会等諸費用
事務費	300,000	210,426	△ 89,574	事務費一般
印刷費	250,000	198,720	△ 51,280	後援会会報印刷代・封筒代
通信費	750,000	395,619	△ 354,381	後援会総会通知発送費・後援会会報発送費・「AIT通信」発送費
2 学生助成費	22,900,000	20,286,080	△ 2,613,920	
学生研究補助費	900,000	284,209	△ 615,791	卒業研究等補助
クラブ援助費	10,000,000	9,201,556	△ 798,444	クラブ活動援助費
学生活動費	6,000,000	5,287,420	△ 712,580	学生自治会援助金・大学祭援助・球技大会援助
入学・卒業記念費	2,700,000	2,507,520	△ 192,480	入学記念集合写真費・卒業記念アルバム作成費
海外研修費	1,800,000	1,502,595	△ 297,405	グアム研修旅行補助
保険料	1,500,000	1,502,780	△ 2,780	学生災害傷害保険料・Will(看護学生用)
3 教育助成費	5,100,000	4,025,678	△ 1,074,322	
就職推進補助費	2,000,000	1,901,318	△ 98,682	保護者のための就職応援ブック2016 350部 他
厚生事業費	600,000	0	△ 600,000	
教育環境援助費	1,500,000	1,499,040	△ 960	学生ホール1階 椅子 110脚
その他の厚生費	1,000,000	625,320	△ 374,680	朝食補助・情報処理技術者試験補助 他
4 慶弔費	700,000	227,400	△ 472,600	入学式献花代・香典 他
5 雑費	100,000	0	△ 100,000	
6 予備費	241,261	0	△ 241,261	
7 次年度繰越金	0	5,083,603	5,083,603	
計	31,641,261	31,758,711	117,450	

上記のとおり相違ありません。

平成28年3月31日

足利工業大学後援会 会計 根岸 麻奈美

監査の結果、上記のとおり相違ありません。

平成28年5月28日

足利工業大学後援会 監事 柳田 直裕
監事 中里

ます。看護計画を立案するためには正確なアセスメントが重要です。特に症状のアセスメントにおいて学生は苦しみます。一、二年生で学んだ解剖生理や病態生理の膨大な知識を応用しなければならぬ対象や健康レベルは異なりますが、実習により人間理解が深まり、看護実践の判断力や技術、倫理観が培われます。例えば、学生は次のような貴重な体験をします。

NCUの実習で極小未熟児を受け持った学生は、クーパーズの中で一生懸命に生きていく姿に命の尊厳を実感し、お母さんから離れ、たった一人クーパーズの中で入院生活を送るベビーに感動して泣きました。また、子どもひとりおいてつらい思いをしてるだろうとお母さんにも思いをはせ、小児看護は子どもだけでなくお母さんにも心配りが必要であることを学んでいました。

在宅看護の訪問看護ステーションの実習では、看護師さんに同行し療養者さんの自宅を訪問します。看護師の訪問をうれしそうに迎える療養者さんや家族の様子から学生は、看護師への信頼の深さを感じたり、何気ない会話からアセスメントに必要な情報を収集して

いるコミュニケーションもありません。訪問時間という制限された前回訪問からの経過を判断し、次回訪問までに起こりうる不安なく療養生活がおくれるようにケアしている看護士から、学生は、エビデンスに基づいた看護を実践するためのプロセスである看護過程を学ぶのです。この看護過程は将来自立した看護者としての基礎となる必須の学習です。

臨地実習で学生は、患者や家族、先輩看護師と出会い、一般の若者には想定できないような体験をし、一領域の実習を終えるごとに確実に成長しています。

二年生で学んだ三週間の基礎実習とは異なり、専門領域の実習は十八週間にわたります。そして専門領域の実習が終了した後の十二月には、引き続き保健師の必修科目である公衆衛生看護学実習Ⅰ、Ⅱが始まります。

このように臨地実習は長期戦です。時間的にも内容的にもかなりハードで、ストレスも多いため、必ずしも御家族の皆様には、学生が最善の状態を実習に臨めるよう体調管理を、よろしくお願い申し上げます。

平成28年度 足利工業大学 後援会役員名簿

役職	氏名	所在市	学生所属学科・学系・分野	学年
1 会長	中里 裕	足利市	看護	3年
2 副会長	仁木 薫	足利市	機械・電気工	4年
3 副会長	根岸 麻奈美	足利市	建築・社会基盤	4年
4 副会長	柳田 直	足利市	生命システム	3年
5 会計	石井 こと江	太田市	機械・電気工	3年
6 監事	片山 清	佐野市	自然エネルギー・環境	2年
7 監事	海老澤 貴志	伊勢崎市	看護	2年
8 わたらせ幹事	細谷 陽子	太田市	看護	2年
9 わたらせ幹事	和田 芳江	足利市	看護	2年
10 理事	石井 文子	足利市	情報システムデザイン	4年
11 理事	水原 智華子	前橋市	機械・電気工	4年
12 理事	舘野 多恵子	佐野市	情報システムデザイン	3年
13 理事	飯塚 典子	佐野市	機械・電気工	3年
14 理事	矢野 多加代	足利市	建築・社会基盤	3年
15 理事	村上 喜美香	足利市	看護	3年
16 理事	岩崎 理恵	足利市	生命システム	2年
17 理事	鈴木 香理	結城市	情報システムデザイン	2年
18 理事	塚本 雅子	伊勢崎市	情報システムデザイン	2年
19 理事	小林 禎	みどり市	機械・電気工	2年
20 理事	麦倉 美智子	足利市	建築・社会基盤	2年
21 理事	横塚 秀子	佐野市	建築・社会基盤	2年
22 新理事	亀田 節子	佐野市	機械	1年
23 新理事	石井 俊之	足利市	電気電子	1年
24 新理事	櫛田 守邦	太田市	建築・土木	1年
25 新理事	工藤 英人	桐生市	建築・土木	1年
26 新理事	高山 和久	邑楽郡	看護	1年
27 新理事	前田 久美子	足利市	看護	1年
28 顧問	川崎 浩司	さいたま		

国民年金保険料の猶予は学生支援課で手続きを！

満二十歳から国民年金保険料の納付が義務づけられています。所得が少ない学生には、「学生納付特例制度」の申請により在学期間の支払いを猶予することが可能です。猶予期間は老齢基礎年金を受け取るために必要な期間(受給資格期間)に算入されず、いざ病気や事故などで重い障害を負った場合にも、障害基礎年金を受け取ることが出来ます。学生支援課にて申請ができますので、お気軽にお問い合わせください。

平成28年度 足利工業大学後援会予算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

収入の部

(単位 円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	摘要
繰越金	5,083,603	5,531,261	△ 447,658	
会費	27,400,000	26,050,000	1,350,000	@25,000円
雑収入	60,000	60,000	0	学生災害傷害保険移動返還金
計	32,543,603	31,641,261	902,342	

支出の部

(単位 円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	摘要
1 運営費	2,470,000	2,600,000	△ 130,000	
会議費	1,300,000	1,300,000	0	後援会総会・理事会等諸費用
事務費	300,000	300,000	0	事務費一般
印刷費	250,000	250,000	0	後援会会報印刷代 他
通信費	620,000	750,000	△ 130,000	後援会総会通知発送費・後援会会報発送費・「AIT通信」発送費 他
2 学生助成費	19,330,000	22,900,000	△ 3,570,000	
学生研究補助費	900,000	900,000	0	卒業研究等補助
クラブ援助費	9,000,000	10,000,000	△ 1,000,000	クラブ活動援助費
学生活動費	6,000,000	6,000,000	0	学生自治会援助金・大学祭援助・球技大会援助
卒業記念費	2,000,000	2,700,000	△ 700,000	卒業記念アルバム作成費
海外研修費	0	1,800,000	△ 1,800,000	
保険料	1,430,000	1,500,000	△ 70,000	学生災害傷害保険料
3 教育助成費	3,700,000	5,100,000	△ 1,400,000	
就職推進補助費	2,000,000	2,000,000	0	就職関連費用
厚生事業費	1,200,000	600,000	600,000	朝食補助・情報処理技術者試験補助 他
教育環境援助費	500,000	1,500,000	△ 1,000,000	学内環境設備費
その他の厚生費	0	1,000,000	△ 1,000,000	
4 慶弔費	700,000	700,000	0	入学式献花代・香典 他
5 雑費	100,000	100,000	0	
6 積立金	6,000,000	0	6,000,000	スクールバス購入代(開学50周年記念事業)
7 予備費	243,603	241,261	2,342	
計	32,543,603	31,641,261	902,342	

事務局便り

去る六月十八日(土)に平成二十八年度後援会総会を開催いたしました。九十七名の会員の方にご出席いただきました。ありがとうございました。ありがとうございました。ご都合により、ご出席いただけなかった方や、また、疑問・質問やご要望などがおありの方は、後援会事務局の学生支援課(TEL〇二八四一六二一〇九五〇)及び会計課(TEL〇二八四一六二一〇八一〇)へご連絡なくお問い合わせください。今回は新しい試みとして、総会終了後、三遊亭兼好氏をお招きし、落語独演会を催しました。お話がコロナと溢れ、身振り手振り表情が加わり、笑い思わず出てしまうものです。いつもの堅い講義室が皆さんの笑い声に包まれ、たいへん楽しい雰囲気になりました。ご参加いただいた会員の皆様には、日本の文化と笑いに触れていただき、文化的刺激と癒しを感じていただけたと幸いです。

十月八日(土)十月十日(月)はわたらせ祭(大学祭)が開催されます。わたらせ祭は、日頃の学生の研究成果やクラブ活動の発表の場となります。作品の展示や趣向を凝らした企画で大学内を盛り上げますので、秋のこの三日間どうぞ足利工業大学大前キャンパスへお越しください。

